

教えて!

市立病院



【今月のドクター】

第一内科 (腎臓・
膠原病内科) 医員
小林 傑 医師

わが国では成人の8人に1人が慢性腎臓病であると報告されており、新たな国民病ともいわれています。慢性腎臓病は自覚症状が全くないまま進行し、症状が出た際に既に末期腎不全になっていることがほとんどです。一度時間をかけて悪くなってしまった内臓障害というのは、歳をとった人を若返らせることができないのと同様で元

〈第 108 回〉

まんせいじんぞうびょう

慢性腎臓病は検尿検査で早期発見、早期治療を

■問合せ / 市立病院総務課企画財務担当 ☎ 22-2450

に戻すことができないため、腎臓が悪くなるスピードをできるだけ遅らせることが治療となります。そのため早期発見、早期治療が重要です。腎臓は体の中の余剰な水分や老廃物を尿として排出するため、機能が悪くなると老廃物が蓄積し血液検査に反映されますが、それよりも早期に尿検査で異常が指摘されることが多いです。健診時の検尿検査で異常を指摘された人は、症状がなくとも医療機関を受診し検査を受けることをお勧めします。

また、腎臓は尿をつくるだけでなく、血圧をコントロールするホルモンの調整や、貧血に関するホルモン、カルシウム代謝などの働きもあり慢性腎臓病

が進行すると様々な異常を認めます。

慢性腎臓病の原因には生活習慣病や加齢に伴うものが多く、生活習慣の是正により予防や進行を遅らせることができます。特に糖尿病性腎症は他の生活習慣病に比べて腎症の進行が速いので注意が必要です。腎不全が進行すると余剰な水分が貯留することで体が浮腫んだり、毒素の貯留により悪寒や倦怠感などの症状が出てきますが、症状がでるときには既に末期腎不全になっていることが多いため、重複しますが早期発見、早期治療が重要です。なるべく健診を毎年受け、異常が見付かった際には医療機関への受診をお願いします。